平成２８年７月７日

関係各位

　ロボットビジネス推進協議会

ＲＴミドルウェアＷＧ

主査　平　井　成　興

第２回

ロボットビジネス推進協議会ＲＴミドルウェア普及貢献賞

対象者ご推薦のお願い

拝啓　時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

当協議会の活動につきましては、毎々格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度、当協議会では、ＲＴミドルウェア、ＲＴミドルウェアを用いたロボットシステムの普及に関し、産業や教育の現場において顕著な実績を挙げている組織あるいは個人、ならびにＲＴミドルウェアの普及に貢献できる出版や広報活動を表彰し、当該活動の継続、さらなる発展の一助とするため、昨年に引き続き、標記第２回普及貢献賞の対象者を募集することになりましたのでご案内申し上げます。

つきましては、本賞の趣旨をご理解賜り、規程（添付資料２）をご参照の上、対象者をご推薦して頂きたくお願い申し上げます。

なお、推薦書（添付資料１）の提出締切は**平成２８年８月３１日(水)**までとなっておりますので、奮ってご応募下さい。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　敬具

＊添付資料１：推薦書

＊＊添付資料２：規程

記

１．表彰式日時　　：Ｊａｐａｎ　Ｒｏｂｏｔ　Ｗｅｅｋ　２０１６

平成２８年１０月１９日（水）－２１日（金）会期中の一日（予定）

２．表彰式会場　　：Ｊａｐａｎ　Ｒｏｂｏｔ　Ｗｅｅｋ　２０１６

ＲＴミドルウェア講習会会場（東京ビッグサイト）

３．問合先・申込先：ロボットビジネス推進協議会事務局

　　　　　　　 一般社団法人日本ロボット工業会（担当：畑）

　　　　　　　 〒105-0011　東京都港区芝公園3-5-8　機械振興会館

　　　　　　　　　　TEL::03-3434-2919、FAX：03-3578-1404、E-mail:hata@jara.jp

＜添付資料１＞

第２回（平成２８年度）

ロボットビジネス推進協議会ＲＴミドルウェア普及貢献賞

推　薦　書

ロボットビジネス推進協議会　御中

機関名：

担当者名：

所属・役職：

電　話：　　　（　　　）　　　　　　　　　E-mail：　　　　　　　　　　　　　　\_

標記貢献賞の候補者として、下記の者を推薦します。

（複数の場合はコピーしてお使い下さい。）

|  |
| --- |
| ふ り が な ： |
| 被推薦者氏名： |
| 所 属・役 職： |
| 推薦該当分野（□内にレ印）：＜産業分野＞□製品販売業績　　　　　　□業務活用業績＜教育・研究分野＞□科学技術教育活用　　　　□研究業務活用＜出版・広報分野＞□出版・広報 |
| 推薦理由：（最大200 文字）＊必要に応じ付属資料を添付して下さい。 |
| 備　考： |

＜添付資料２＞

ロボットビジネス推進協議会ＲＴミドルウェア普及貢献賞

規程

１．趣旨

ＲＴミドルウェア、ＲＴミドルウェアを用いたロボットシステムの普及に関し、産業や教育の現場において顕著な実績を挙げている組織（主に産業分野）あるいは個人（主に教育分野）、ならびにＲＴミドルウェアの普及に貢献できる出版や広報活動を表彰し、当該活動の継続、さらなる発展の一助とする。

２．産業分野

民間企業において下記のいずれかの形で成果を上げているもの。

２．１【製品販売業績】

ＲＴミドルウェアを用いた装置やソフトウェアを製品化して販売活動を２年以上行っており、販売実績があるもの。

２．２【業務活用業績】

製造ラインや開発システムの中でＲＴミドルウェアを活用していて、利用実績が３年以上あるもの。

３．教育・研究分野

大学、高専、高校．中学等の教育機関あるいは公的な研究機関等において下記のいずれかの形で成果を上げているもの。

３．１【科学技術教育活用】

ＲＴミドルウェアを用いた教育を３年以上に渡り実践している教授、教諭、およびそれらのグループ。

３．２【研究業務活用】

実験システム、研究装置の中でＲＴミドルウェアを活用していて、利用実績が３年以上あるもので、当該システムや装置を使って研究活動を行っている研究者、技術者、およびそれらのグループ。

４．出版・広報分野

個人、組織を問わず、技術解説書、Ｗｅｂページなどにより、ＲＴミドルウェア普及に大きな貢献があったと認められる活動を行ったもの。

５．贈呈式

ビジネス推進協議会名で賞状を贈呈。贈呈式はロボットに関連するイベント等に合わせ

て行う。

６．審査方法

ホームページ上でのアナウンスなどを行い、ビジネス推進協議会会員はもとより、一般からも推薦を受ける。審査はＲＴミドルウェアＷＧで行い決定する。

７．件数 毎年、各１〜２件。

８．推薦資料記載事項：産業分野

①企業名

②業績名称：製品名、システム名等

③ＲＴミドルウェア利用の仕方の具体的な説明

・【製品販売業績】

ＲＴミドルウェアをしていることが明記されているカタログ等を添付

・【業務活用業績】

その存在を証明する適当な資料

④販売期間あるいは活用期間

⑤販売実績あるいは活用の効果

９．推薦資料記載事項：教育・研究分野

①教諭、教授、グループ名等

・【科学技術教育活用】

カリキュラムや講座などの名称と内容概略、ＲＴミドルウェアの利用法の説明

・【研究業務活用】

活用装置等の名称、システム概略、ＲＴミドルウェア利用法の説明

②実施期間

③エビデンス

・【科学技術教育活用】

講義等の実施履歴と受講者数をまとめた資料、カリキュラムの実施内容、テキスト、授業風景等添付

・【研究業務活用】

当該装置を使った代表的成果をまとめた資料、当該装置の外観、発表論文などを添付

１０．推薦資料記載事項：出版・広報分野

・【出版】

書籍の情報、概要、Ｗｅｂ上での評判などの情報

・【Ｗｅｂページ】

当該ＵＲＬ、コンテンツ概要、推薦理由（推薦者から見たコンテンツの優れているところなどを具体的に記述）

以上